

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(129)、(162)」

2. 日時：令和4年10月26日（水）13時30分～15時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、野田企画調査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、海田主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、宮脇安全審査専門職、大井安全審査専門職、馬場係員、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他12名※

電力中央研究所 1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト

・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）

<<本年10月14日に受領済み>>

・浜岡原子力発電所 基準地震動・基準津波等の審査スケジュールについて

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	はい。それでは、規制庁の鈴木です。それでは時間になりましたので浜岡原子力発電所の審査ヒアリングの方始めたいと思います。
0:00:13	今日は2点で一つは敷地敷地の地質地質構造のコメント回答1000、78回の会合を踏まえた対応方針ということで、これが1点と、
0:00:24	あとはまず審査全体ですね、これ同じ会合で、こちらから御社の希望ということでお示しくださいと言ってますけども、審査全体のスケジュールと、
0:00:35	いう2点になりますのでちょっとこの順番で進めたいと思います。質問、シアシアしまして失礼しました説明時間は、こちらもそこまで長くはない。
0:00:47	と思いますので、もし審査スケジュールの説明時間そこまで長くなければもう通しで両方説明をいただいて、先に7室の方ですね。
0:00:59	こちらの方についてこちらから当方から質問するような形でやりたいと思います。
0:01:08	もしくはそれぞれで質問と質疑区切っても結構ですけどすみません、どちらでも構いません。
0:01:14	そちらのメンバーでやりやすいような形でお願いします。
0:01:18	はい中部電力浜野でございます。申し訳ございません。ちょっと説明者の交代が入ってしまうのでまず、地質の方の第1017、78回審査会合を踏まえて、
0:01:30	認識した課題への対応方針、ご説明させていただいて、ご確認いただいて、それで結構です。そのあとに、審査スケジュール改めてご説明させていただきますと。
0:01:43	はい、じゃあ、最後できます。よろしく願いいたします。はい。お願いします。
0:01:49	はい。では、中部電力ものでございます。先ほど申し上げました通り、第1078回審査会合を踏まえた、認識した課題への対応方針ということで、
0:02:02	資料まとめて参りましたので説明させていただきます説明は10分程度になります。よろしく願いいたします。
0:02:10	中部電力の森本でございます。
0:02:13	資料を説明させていただきます。資料お手元の日付がですね、10月26日の資料が、まず実質の対応方針の資料になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:25	広瀬めくっていただきまして1ページ目、2ページ目には、前回の会合を踏まえ、踏まえた踏まえですね認識した課題ということで、まとめてございます。
0:02:36	ラップアップを実施いただきまして、ご指摘いただいた、
0:02:42	点踏まえて再度課題についてまとめて参りました。
0:02:47	ラップアップの際にご指導いただきましたように、まず(1)として、各課題項目があって、
0:02:56	五つほど
0:02:59	各分野方針から、個別の調査について課題をいただいておりますので個別の課題をまとめております。
0:03:07	2ページ目(2)として、それら
0:03:10	1検討項目。
0:03:12	に関する課題を踏まえた結論ということで、
0:03:17	まとめてございます。
0:03:20	月残存上載層については、12か13万年前に古いという科学的データが示されてないと。
0:03:27	いのご判断だということと、
0:03:32	データ取得をして論理構成も必要に応じて最高。
0:03:36	すること、こういったご指摘をまとめてございます。
0:03:41	課題として、この2枚まとめてございますが、間にはですね個別のご指摘もいただいておりますので、それをこの資料中はオオイで、
0:03:52	示すという形でまとめております。
0:03:55	本日の資料は、このうちの課題に対して、我々がどうとらえて、どういったところを、課題解決に向けて取り組んでいくのかというのをまとめた資料になっております。
0:04:10	次の3ページ目が、その概要でございます。2枚に分かれて記載しております。
0:04:17	まず3ページの内容は、全体の方針についてでございます。
0:04:23	前回の会合においても、佐口さんそれから鈴木さん。
0:04:29	それからですね全体の評価方針それから地形調査の中で、
0:04:35	全体の概要に関わるコメントをいただいておりますのでそのそれらの対応ということも兼ねて3ページまとめて、
0:04:42	ございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:44	箱書きの内容にありますけど元素の堆積年代評価に当たりましては、三つのポイントを指摘いただいております。まず広域的に分布する堆積物だということと、
0:04:57	次にマルBとして、泥層海成堆積物であるということ、それからMRCとして、泥層が確実に古谷泥層株に対するんだと。
0:05:08	この3点についての対応ですけれども、
0:05:13	関連文献について再整理を行うとともに、それぞれ評価根拠となり得る。
0:05:19	デブショの取得を目指しまして、BF4地点それからその付近を中心に、幅広い追加調査を実施して、
0:05:26	参ります。
0:05:28	それからこの三つのポイント以外にもですね、2ポツの内容になりますけれども、
0:05:33	例えばBF1地点付近の古谷泥層の詳細な分布に関する調査等、この三つ以外にも、多角的な視点での調査についても、検討を実施して、
0:05:45	いく予定でございます。
0:05:47	これらの追加調査結果を踏まえまして、この必要に応じて論理構成の見直しを行いまして、
0:05:54	冷蔵というのが、後期更新世またはそれより古い堆積物であるということを示して参ります。
0:06:02	下の図は、我々のロジック、前回の会合でも、ポイントだということで、
0:06:10	共通認識を持たせていただきました。
0:06:13	広域に分布する地層な海成堆積物が、それからフェアベースを下部に対比されるんだと。
0:06:20	いうところが、我々の説明の中で、こういったところに、
0:06:25	入っているのかどういったことが前提条件になっているのかというのを図でまとめたものでございます。
0:06:31	それらの黄色でハッチングした部分、それらに効いてくるところの調査結果を、調査について、今回補強してくると。
0:06:39	いうものでございます。
0:06:41	それとあわせて都丸Dとしております多角的な視点での調査についてもあわせて、鋭意検討しているという状況でございます。
0:06:52	次のページ、4ページになりますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:56	こちらはですね小部通にいただいております、
0:07:02	課題各検討項目ごとの総括と、
0:07:05	ということで五つテーマをいただいておりますが、その点はそれぞれに 対して大きく、対応方針としてこういう形で、
0:07:15	検討していくという内容をまとめたものでございます。
0:07:21	上の①②に対する対応方針というのは、
0:07:26	①②堆積年代の評価方針それから地形学的調査という全体に関わる、
0:07:31	対応方針ってのは先ほど3ページでご説明させていただいた通りです。
0:07:36	その下、3③0405の内容につきましては、次の5ページ以降にですね個 別にまとめてございますので、そちらのページの方で説明させて、
0:07:46	いただきます。
0:07:48	まず、5ページ、泥層の調査についての課題。
0:07:53	です。
0:07:54	上の表の内容になります総括としていただいております。課題とし ては、泥層の調査から、堆積年代を直接特定できるような仕様がえられ てないと。
0:08:07	ということと、泥層が海水堆積物であるということが十分に説明できてい ないと。
0:08:13	いう点であったと認識しております。
0:08:16	とそれぞれ対応として、
0:08:19	まず
0:08:20	泥層の分布を詳細に把握すると。
0:08:24	ということと、付近に分布する歴史堆積物、これは笠原木曾相当と我々評 価している礫層がございますけれども、
0:08:33	その礫層との層位関係を確認できるを問うものを確認して、
0:08:37	参ります。
0:08:39	それから直接全体を特定できるような指標が何かないかということで、 古谷泥層中の古地磁気、
0:08:46	複数文献がございましたので、そういったものを使って何か、もう少し 直接的に堆積年代を特定できる指標を変えられないかと。
0:08:57	そういう検討もあわせて行ってきます。
0:09:01	三つ目ですけれども海成であるというところに対しては、
0:09:07	根拠データの説明性向上として、寶石動をなど二次堆積物の差別化です とか、放散虫、ざくろ石のサンプル数の拡大を図っていくと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:19	いう内容を検討しております。
0:09:22	その下でもう少しですね細かいか。
0:09:28	細分化した課題を、会合の中でもご提示いただきまして、我々もその点、認識しておりますので、
0:09:36	これは個別課題。
0:09:37	について、解決に向けて、こういった部署が必要なのかというのを表でまとめております。
0:09:46	表の一番右には、それぞれ、そういった、
0:09:51	物証を得るためには、こういった調査が必要なのかということで具体的な調査手法と、調査地点というのを記載しております。
0:10:00	例えば、泥層の分布が詳細に把握できていないという点については、
0:10:06	物証として泥層の広がり。
0:10:09	をしっかりと把握してやる必要があるよねということで、
0:10:12	B F 4 地点で、県土壌ボーリングトレンチ等を使った、幅広い調査を行っていくと。
0:10:19	いうものでございます。
0:10:23	それ以降で
0:10:26	細かい点になりますので、一つ一つの説明を少し割愛させていただきますけれども、具体的な手法として、
0:10:36	P F M 地点付近のボーリングトレンチですとか、古地磁気花粉分析微化石分析火山灰分析というのを再度やり直すと。
0:10:47	いうメニュー、それから、
0:10:49	B F 1 地点、
0:10:51	こちらで宝石動として確認された地層についてボーリングトレンチ、
0:10:57	どうやっていく予定でございます。
0:11:03	次 6 ページ目の方に移っていただきまして、続きまして、古谷泥層との対比についての課題への対応方針でございます。
0:11:14	まず上の表、退避にあたっての課題としては、谷さんからの後、
0:11:21	コメントいただいておりますが比較項目が確実なものかと。
0:11:24	いうこと、文献との対比状況が不十分だということ。
0:11:30	それから、露頭として比較地点が充足しているかという点、観点で、
0:11:35	十分条件がそろっていないと。
0:11:39	いうことを課題として我々としても認識しております。
0:11:45	対応方針としては、大きく、まず既往文献で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:52	提起されている、古地磁気等を分析して、直接対比できる指標がないかというのが、
0:11:59	もうこちらでも
0:12:02	来たい人の対応という観点でも検討を行って参ります。
0:12:07	それから、地点の追加の話がございましたけれども、こちらについても、既往文献に詳細な調査結果が示されている地点において追加調査を、
0:12:17	検討しております。
0:12:20	文献の記載内容と当社調査結果の関係を、この追加調査によって確認するということと、
0:12:27	追加調査地点における泥層と同じ特徴を持つ層準。
0:12:32	追加調査地点の、
0:12:34	P F Rと同じような層状がないかということを確認していくというものでございます。
0:12:40	下の表にもそういった内容を具体的な手法としてまとめさせていただきました。
0:12:48	次7ページになります。次は、古谷泥層以外の堆積物の比較についての対応でございます。
0:12:59	ニシキさんからコメントをいただきましたが、
0:13:04	古谷泥層以外の堆積物との比較から、
0:13:10	泥層というのが、比木2地点B F 1の古谷泥層と同じ堆積環境同じ時代の堆積物だということが十分説明できていないと。
0:13:19	いうものでございました。
0:13:22	こちらについては、まず局所的な泥層との対比の範囲が網羅的に把握できてなかったという点が課題としてございましたので、
0:13:33	まずその網羅性を文献調査により確保すると。
0:13:36	ということと、
0:13:38	具体的にもご指摘いただいた赤道との対比については、こちらのB F 1地点の方関戸の比較との比較を行っていくと。
0:13:46	いうものでございます。
0:13:49	それから、古谷泥層イマイ堆積物として、笠名礫層層相。
0:13:56	A B 営業付近の礫層との関係についても層位関係が確認できないかということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:03	こちらにも露頭、こういった露頭がないかというのを確認しております。確認していく予定でございます。
0:14:10	もう少し先ほどまでこういうことやっていきますという内容とも重複しておりますが、古谷泥層以外の堆積物の比較という観点でも、そういった調査を実施していくというものでございます。
0:14:23	下の表には、そういった具体的な調査手法をまとめさせていただきました。
0:14:32	資料次、住まい博士挟みまして、見開きで上の方に、
0:14:38	追加調査地点の位置図と、それぞれの時点でこういった調査をやるのかといった範囲で調査を実施していくのかというのをまとめてございます。
0:14:49	まず右の図、BF4 地点付近として黄色の点線で囲っておりますけれども、こういった範囲で、
0:14:58	DF 8000 と同じような、泥層がこういったところに分布しているのかと。
0:15:03	その分布を探る過程の中で、礫層との層位関係であったり、
0:15:09	また今まで見つかっていなかった層準が見つかるんじゃないかということでトライしていく予定でございます。
0:15:17	それからBF1 地点についても、今回の宝石動も確認しておりますのでそういった地層との、BF4 地点の地層との差別化を図るという目的で、
0:15:28	その実の詳細調査を行うということと、
0:15:34	広域海成それから古家に対すると、この三つのポイント以外にもですね、多角的な視点での調査ということで例えば古谷泥層、
0:15:43	BF1 地点が分布するとされておりますけれども、こういった分布状況かと。
0:15:48	いうところもあわせて、
0:15:50	確認して、BF4 地点の評価につなげていきたいと考えております。
0:15:57	少し左の方で広域的な方に目を移していきますと、古谷泥層の追加調査地点については少しまだ地点選定中ではございますけれども、
0:16:08	文献で指摘されている、詳細な調査結果を示されている地点、
0:16:13	を選んできて、ここで、当社としても、
0:16:18	詳細な調査を行っていこうと考えております。
0:16:24	次最後 10 ページになりますけれどもそういった調査の概略

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:29	全体の工程をお示ししております。
0:16:33	基本的にはですね現状を考えている内容としては、現状考えている調査メニューとしては、年内、
0:16:41	一応分析関係ですとか、追加調査地点については、年明けあたりまで
0:16:48	調査がかかるという予定をしております。
0:16:52	こういった想定している調査が予定通りの結果が出て参りますと、大体1月の下旬から2月にかけて、
0:17:01	ご説明できる状態になるという予定をしております。ただまず調査、トライアンドエラーで走りながらになりますので、
0:17:11	場合によっては延長する可能性もございますのでそういった可能性のある期間として、破線で、期間をお示ししております。
0:17:22	全体のスケジュールとしてはこのような流れを今のところを想定しているというものでございます。
0:17:30	本日追加、ごめんなさい、認識した課題への対応方針としての資料は医療になります。
0:17:46	はい。ご説明ありがとうございました。
0:17:49	どうしますかね。
0:17:51	じゃ、ちょっとまず全体的なところから、ちょっとすいませんなんかABCんとあと、最後の調査地点ですか、ちょっとこの、
0:18:01	見方を教えていただきたくて、
0:18:04	9ページ目に色分けで調査地点が、
0:18:08	あってですね、黄色枠のBF4地点付近と言ってるのはこれ多分それまでの前のページで、おそらく調査地点、BF4地点付近っていうものと、これはちゃんと一対一で対応してるんですよ。例えば7ページとか、
0:18:23	他のページもありますよね。
0:18:26	これはそのまま一対一で読み取っていいんですよ。
0:18:32	はい。森本です。江藤。9ページで、付近、PFPしているところはその前に出てくる資料で書いております。
0:18:42	例えば5ページの1、
0:18:45	下の表の一番上、調査地点BF4地点付近と、
0:18:49	しているエリアは9ページのBF4地点付近というところと対応しております概ねこの辺りのエリアで調査をやっていきますというものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:00	はい、ありがとう。
0:19:01	はい、ありがとうございます。で、同じ9ページの右上のBF1地点、
0:19:08	ボーリング中ぽつトレンチっていうのは、これも、それまでの説明のところで、調達点BF1地点方関戸と書いてあるものとこれも対応してるってことですよね。
0:19:20	はい。その通りです。
0:19:22	なまた9ページの左側の古谷泥層追加地点と言ってるものは、
0:19:29	これはそれまでの説明ページだとどこかというたとえば6ページの
0:19:35	下にある露頭、一番下ですかね露頭調査、ボーリング等括弧追加調査地点、
0:19:42	と書いてある、これと対応してるんですかね。
0:19:47	はい森本です。その通りでございますが6ページの下側に書いてる内容でございますが、すいません調査地点という書き方で、
0:19:57	BF4だとかBF1は、一応右の列に記載しているんですけど、こちらがちょっと対応としてとりにくくなっておりますので、
0:20:05	少しそこは補足をさせていただきます。この
0:20:08	6ページ下の表で言っている、下伊丹。
0:20:12	といいますか、の下、下半分の部分の調査地点のことを言っております。
0:20:18	下個別課題の欄でいうと層相等の古谷泥層に関する珪藻分析結果のっていうこの三つですねここに対応してる調査のことですよね。
0:20:29	はい。その通りです。少しその点は修正させていただきます。
0:20:35	はい。最後に残ったBF1地点が中に二つ種類あって、BF1地点付近ボーリングトレンチ等というのが一応これDに該当してるので、
0:20:48	Bに該当するものは、個別の論点①から⑤でいうと、
0:20:56	①と②かな、個別課題の対応でいうと、
0:21:01	どこだったかな、4、4ページ目から4ページ目で合ってるか、4ページ目の、
0:21:10	いわゆる①方針②地形学的調査のこの高久。
0:21:19	視点での調査でここにこれは対応してるんですよね。
0:21:26	はい森本ですその通りでございます。少し個別にいただいと③④⑤とは少し違った観点で、それ以外にも何かできないかということで我々としてもトライしていくと。
0:21:40	経済を記載しております、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:42	登場してくるのは4ページの総括的なコメントの対応ということで、記載をしております。
0:21:52	はい。ちょっと多角的な視点での調査というのを具体的に、何のアウトプットを考えているのかちょっと一旦横に置いておいて、
0:22:00	ちょっと全体の話として3ページ目なんですけどこれは一応前回の会合での説明内容説明フローで、そこに、
0:22:11	課題があったのでその対応ってということで、
0:22:14	一応今回の追加調査をしてみて、いわゆるこのフローいわゆる対比型ですよね。対比隠して、
0:22:25	いく形でいくのかもしかしたら場合によっては上下との層序関係がはっきりすればまたこれは、
0:22:32	説明のフローというかロジックは変わりののか。
0:22:36	そこはだから今の時点でやってみないとわからない話なんで、
0:22:39	これは引き続き、このフローで説明し尽くしていくのかっていうのは、今の時点では調査結果を待ってからっていう、そういうお考えですかね。
0:22:51	はい森本です。鈴木さんおっしゃる通りでございまして、補強材料は、幅広にまずはすべて取りかかるという方針でおりますけれども出てくる結果によっては、
0:23:03	思うような結果が出られないという場合もございまして
0:23:08	反対に、すごくいい結果が出てくるという可能性もありますので、
0:23:13	少し結果を見ながら、説明のロジックというのは、コメントいただいておりますように、再考していく可能性もあるというものでございます。
0:23:27	はい。ご説明はわかりました。
0:23:31	ちょっと私は前回の会議も
0:23:35	したのが、地形学的調査のところ、
0:23:39	一応これは一応文献情報の再整理とおっしゃっているので、何か改めてですね、文献をさるのにそれなりに時間がかかるというものではなくて一応もう文献としてはそろっているんだけど、
0:23:53	それを、御社の方のご説明を聞いた流れに沿って、
0:23:58	いわゆるその後段ですよ後段いろいろ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:02	仮説立てて、部署で実証してっていうところですけどその入口の部分で、さもありなんという説明、ストーリーになるように、そこは今再構築するってことでこれは、
0:24:13	整理するのにそれなりに時間かかりますけど、何か文献を新たに探しに行って、その地点に確認に行ってっていうのは、それあまり軸そういう行為は発生しないってことですかね。
0:24:27	新しいその文献を探して個々の文献ではこの露頭でこう言われてるのでって言ってその地点に行くと、それはそれなりに見に行く時間がかかると思いますけど。
0:24:37	ここはもう文献がそろっているので情報を、ある情報を再整理するっていうそういう作業ですかね。
0:24:46	はい。森本です。文献に関しては、当然網羅性の観点でご説明が足りてなかった資料への反映が足りてなかった部分もございますので、
0:24:58	抜け漏れがないかという確認は合わせてやって参りますただ
0:25:04	何かこう、
0:25:07	追加でものすごい量の文献を調査するとかそういったことまでは特に想定はしておりませんでちゃんと抜け漏れがないよねっていう整理はした上で、追加検討もあわせて示させていただくということを考えて、
0:25:23	おります。
0:25:24	追加調査地点については、もう
0:25:28	少し
0:25:32	6 ページへの対応の中、6 ページに記載。
0:25:36	している対応の中でも触れておりますけれども、
0:25:43	今我々としても把握している文献の中で、
0:25:47	調査結果が示されている詳細な調査結果が示されているところでどこか追加、
0:25:53	できる地点はないかというので今選定を行っている状況でございます。
0:26:01	はい。何となくわかりました。
0:26:04	あとですねちょっとまた9 ページ目の調査地点なんですけど、
0:26:11	ざっくりとそのだ円0。
0:26:13	囲ってあるのですが、特にこのBF4 地点付近ですね。
0:26:18	一応こう、図を見ると1BF2T11BF4SDI bFG
0:26:26	たばこの間をまあ、OSをなめるような形で見ますというようにも読めるし、何かしらその個こういう意図でこのは、この範囲を、具体的な調

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	査地点まではまだプロットできてないと思いますけど、できないと思いますけど。
0:26:41	多分なぜこの黄色の範囲にしたのか。
0:26:43	ていうのは、ちょっと資料からは読み取れないのですが、これは何か意図があるんですか。
0:26:51	当然を希望する泥層が探せるであろうということだと思んですけど、こういう情報からここを調査すれば、期待される情報がえられるっていうことだとは思んですけど。
0:27:03	ちょっとこの範囲を指し示した意図っていうのがちょっとわからなかったんで教えてください。
0:27:10	はい森本です。すみませんちょっと資料中、そういった観点での説明が抜けてるんですけども、まずBFM時点と大体同じような標高。
0:27:23	BF4地点で、なおかつBF4地点と同じような恐慌だということで、
0:27:29	同じ時代の地層がたまってる可能性が高いエリアということで、黄色の範囲を囲っているというところが一つと、
0:27:38	古谷泥層内湾性の堆積物だと我々の評価前回ご説明させていただいたのが、タニ上の堆積物だと。
0:27:47	いう、評価が正しいとするのであれば、同じような、
0:27:51	タニつけ、
0:27:53	そして
0:27:54	このCが、不安を、
0:27:57	は壁を
0:28:00	壁のような形になっているというイメージをすれば、同じようなところに、
0:28:05	泥層としても残存している可能性があるだろうということで、
0:28:12	同じような標高、それから、と同じような、
0:28:15	3日形の中でというので、黄色の範囲を囲っておりますまずはこの範囲を一生懸命探すというは、意味でこの合い行わせていただきました。
0:28:31	なるほど意図はわかりました。あとすみません最後に1点だけ今回、逆帯磁率の話が、
0:28:38	出てきてたと思うんですが、これわあ、全く新しい
0:28:46	全く新しいというかこれまでも、帯磁率の説明は全く別件でどっか出てた気がしますけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:52	この観点で比較をしようというのは、これは新しいですね今まで、前回当然入ってなかったと思うので、
0:29:02	はい井本です種類、帯磁率今までその対比にあたっての主要な根拠としては使ってはなかったんですけどもやはり
0:29:13	前回のご指摘の中で
0:29:16	化石だとか花粉だとか、そういったもの含有率が低いというところを対比の根拠にするのはいかがなものかという、
0:29:23	なかなか信頼性がという課題もいただいておりますのでそういったところで、
0:29:28	何らか、数字としてお示しできる指標として、
0:29:32	何か良いものはないかというので今検討している内容でございます。
0:29:37	この逆帯磁層準は古谷泥層の中で、別途あるというので、ちょっと今、資料中には記載はしているんですけども
0:29:48	別の文献、後から出てる文献だと、
0:29:52	そういったものはないんだという文系もあったりするのでちょっと今文系の内容は精査中ではありますけれども、
0:29:59	何らか、数字として大変基準になり得るんじゃないかというので今、
0:30:06	幅広に検討していく中の1項目として入れているというものでございます。
0:30:14	はい。わかりました。ちょっと
0:30:17	そういう逆帯磁層準があるという文献もあればそうではないという文献もあるけれども、
0:30:24	ある程度示しそうなものは検討中だということで、
0:30:31	t o t oとはいえですね調査方針とか今後の方針を議論するんだとする等、少なくとも私
0:30:39	いやこういう文献でこう言われてる。
0:30:41	いや、ただこういう文献は逆のことが言われてる。
0:30:45	ていうのはそういう逆のことも含めて、
0:30:48	こういう文献の情報があるので、これをやらんと思いますっていうのがないと、なかなか切り、やるのねって話にしかならないので、
0:30:58	そこら辺は少し、新しいですねやり方をするのであれば、
0:31:02	そこは午後説明資料に加えていただきたいかなと思っているのと、
0:31:08	古谷泥層、また同じように古谷泥層だとすると、
0:31:13	そこに逆帯磁率の値があって、いやこれがその対応するんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:20	じゃあ、他の場合他の層準には、他の地層ですね、別の層には逆帯じゃないんですか。いやそこでも同じかもしれないじゃないですかってなると、また
0:31:31	後からですねそういう話になるところもあるので、可能性あるのであれば他の層準で同じようなことが市言われてないのかっていうのもあわせて、
0:31:42	お示しいただくと、この追加でこうデータ入れるっていう部分が、どう、いかがなのかっていうのは議論ができるんじゃないかなと思ってますので、
0:31:54	ちょっとそういう新しい試みのところはどういうことをやるのかっていうのはわかるように、
0:31:59	ちょっと資料の方を拡充いただけるといいかなというコメントでございます。
0:32:06	はい、ありがとうございます。
0:32:09	ちょっといろいろ、逆帯磁じゃないんだという文献も、
0:32:15	あたりしてその辺、すいませんまだ精査中の部分もございますので至急そのあたり取りまとめてですね文献調査についても、そのコメントをいただいておりますので
0:32:26	少し手法として、そのあたり
0:32:30	適切かどうかというところも含めて議論、
0:32:34	させていただけるように、準備していきます。ありがとうございます。
0:32:38	はい。すいません。私からとりあえず以上です。
0:32:44	それぞれごと、まずは全体の話とかあと個別、前回会合で、
0:32:49	聞いた部分とかで、
0:32:51	今日ことあります。
0:32:58	規制庁ニシキですけども、一応古地磁気のところ逆帯磁。
0:33:03	層準をっていう話で多分これ北里先生、秋田宇都他ニシキ 81 ってやつで、古屋層の中で、逆帯磁といいますかいわゆるエクスカージョンというものが見つかりましたよという報告があって、
0:33:17	その中のその2年後ぐらいに、小山に詰まって今北里先生、秋田里他の中に入ったた。
0:33:25	その所強調中のメンバーが新しく、もう1回測り直したら正帯磁局でしたっていう結果の話だと思いますんでそれ確か同じ資料を用いて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:37	こういう結果が出ましたって話なんで、その著者らが、そういったことを県外変えて、後前野間違っって無低重力計とFLACSゲートの集計で測り直して、生徒に重量計ではかる良く出ましたよって話だと思しますので、
0:33:52	あまりその辺は近藤せずにですね、弁文献とは別々かもしれないですけど、同じ人が、要は前野はちょっと違っりましたよっていう話だ、のようにも読めなくもないのでそのあたり御社の方で
0:34:05	他の試験もあるかどうかも含めて整理いただいた方がよろしいかと思しますので、その辺、ここは文系の文献だと思うんですけどもその辺どういいう関連性があるかもちゃんと含めた上でちょっと整理していただいた方が、
0:34:18	手戻りとかうまく進むのかなと思しますのでその辺はご確認の方よろしくお願いいたします。
0:34:28	はい根本です今、ニシキさんおっしゃった通りの内容でございますのでちょっと我々としても、ちょっとこの資料作った段階での精査が足りなかったっていうところもございしますので、少しその辺を整理してですね、手法として、
0:34:42	適切かどうかも含めて、ただ、取り組みとしては、調査として幅広くやっていきたいと思っておりますので、
0:34:49	その調査の位置付けも含めてですね整理してまたご説明させていただきます。
0:34:57	はい。調査の方は、順次進めていく形になると思しますので、重要そうなもの、ものからやっていくんだと思っておりますけどもはい。次、整理をお願いします。
0:35:11	か。
0:35:17	タニですちょっと何点かなんですけれども、何かこの今回のマルBの内容として書かれているのか。
0:35:27	5 ページで、
0:35:32	があっってそ、それは、
0:35:35	今2点、2点ですかね、このマルBに対しては、その一つ目が、
0:35:41	B F 1 地点の方関戸と差別化で、あとざくろ石、放散虫の、
0:35:48	データのサンプル数拡大っていうことなんですけど、
0:35:53	これはあくまでまず、まずはその放散虫ざくろ石のデータのサンプル数っていうのはこれはあくまで泥層。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:02	付近の地質、地層中ってというのがこれが相良宗君のこと言ってるのか、付近の、
0:36:10	地層ってというのがこれ何なんですか。
0:36:17	甲斐森本です付近の地層を相良層を中心として、他にも、そういったのが入っている地層がないのかということも含めて、
0:36:28	検討しようかなと思っておりますけれども基本的には前回、
0:36:33	データ数が少ないのでというご指摘いただいてる相良層をと考えております。
0:36:41	と、笠名とかは対象ではないんですか。
0:36:46	そうですね笠名礫層ん、
0:36:53	はまず付近にないという、
0:36:57	ごめんなさい。同じ海成層になりますので、なかなか素行。
0:37:02	差別化は難しいのではないかと。
0:37:06	と考えております。
0:37:10	わかりました今のところの考えとしてはちょっと僕、ここでいい悪いとか言わないですけど、
0:37:17	泥層主体にして桜草君も相手にするよってということかと思いました。はい確認できましたんで、もう1点その上に、
0:37:27	泥層とBF1地点の宝石度の差別化っていうふうには書いてるんですけど。
0:37:32	これちょっと、BF姿勢の方赤道なんかこういろいろなんか分析とかされるんっていうイメージかと思うんですけども、
0:37:42	あくまでそのBF1地点と、
0:37:45	何て言うんですかね、BF1地点とここが違うから方関戸じゃないってというような話とは、指摘はちょっと違うんじゃないかと思うんですよね。
0:37:55	BF1みたいな方関戸もあれば、世の中もと違う宝石でもあるわけであって、
0:38:00	魔法関戸土石流土砂流だとかですね。
0:38:04	そういった可能性として、
0:38:08	他の成因とかも考えていくべきってということの中であんまりBF1地点の方赤道ばかりどんな調査されるのかというのはまた別であるんでしようけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:19	に注目するっていうのも、何かこの資料をぱっと見ると、あれなんかBF1に固執してるような感じがちょっとして、どうかなって思ったんですけども、これ、どういう調査、
0:38:31	をされるんですけど、
0:38:37	早野モリモトです。BF1の方赤道と差別化、差別カーですけども、
0:38:46	前回
0:38:51	海成の根拠としていた、変成岩河成バーン。
0:38:56	が、BF1の方赤道としていたところにも入ってたじゃないかと。
0:39:02	いうところで、
0:39:04	それをじゃあ海成の根拠としては使えないではないのかというのが、患者さんからいただいたコメントかと思います。
0:39:14	そういった観点で、会合の中でもちょっと、
0:39:19	ちょっとここ私ご説明してたんですけど、
0:39:22	日そもそも法赤道等を、
0:39:26	BF泥層っていうのが、
0:39:30	ちゃんと操作を確認すると違うんだというところ。
0:39:34	をまず示していくということが一つ。
0:39:38	それから局所的な泥層との違いという観点で、
0:39:42	西井さんからコメントいただいてたところ、網羅性の話ですねそちらの方が、
0:39:49	土石流堆積物だとかそういった現地性の泥層と後がいいが、ちゃんと見られてないんじゃないかということでこちらについては、谷さんおっしゃったように別にBF1に固執しているわけではないんですけども、
0:40:04	ちょっとさっきの話の裏返しにありますBF4と同じような歴だとか、
0:40:11	礫州のものが入った、自走という意味で今、よく似た構成物からなると。
0:40:17	いう意味ではちゃんと違いを示している必要があるのかなと思ってます。ただ別にBF1だ形と比較して、
0:40:26	土石流じゃないっていうわけではなくて当然文献なんかも調査しながらですね、
0:40:32	こういった観点で土石流堆積物はないんだという、その例の一つとしてBF1と比べてあると。
0:40:37	ようは考えておりますけれども、そういった中の一つという位置付けです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:44	ただ調査としてBF1の方関戸ってどういったものなのっていうのが、
0:40:49	ちょっと今までだと、コアであったり、花粉分析の結果でしかお示しできてなかったんで、
0:40:56	ここで今回評価を見直した方赤道ってこういうものなんだというところを少し丁寧に、
0:41:02	調査したいなと思っているところです。
0:41:05	これは井谷です。考えはわかりました。
0:41:09	これは、我々はこうなんか層相が、
0:41:12	同じなんだとか言ってるつもりはないっていうのだけ、層相確かにそれは違うのはわかってるんですけども、
0:41:20	だけれども、
0:41:23	何て言うのかな、
0:41:26	はっきりと歴があるだとかないだとかそういうのでは切れない、そのただただの根拠として持ってきているのに対して言ってるっていうことがあって、
0:41:36	はい、やることはわかりました。
0:41:40	阿藤。
0:41:43	さっきさっき鈴木さんが
0:41:47	ちょっとちらっと言いましたけど多角的な視点での調査っていう、
0:41:52	この内容っていうのは、今から考えていくようなことなのか、ある程度、何かこう、
0:41:59	こういうのをやろうと思ってるっていうのがあるのかその辺あれば聞かせていただけたらと思います。
0:42:23	はい森本です。
0:42:26	と
0:42:28	多角的な、都丸梨衣としております多角的な視点での調査ですけども今まで
0:42:36	やってきた調査というのが、どちらかつうのは3ページに記載しております。
0:42:40	海成theえと広域だと古谷泥層だと、古谷泥層じゃないものとは違うという観点でしたけどももうちょっと全く違う観点でということで、
0:42:49	例えばになりますけれども、BF1地点、
0:42:52	古谷泥層、
0:42:54	が確認できて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:56	おりますので、
0:42:57	それは文献でも言われている古谷泥層になります。
0:43:01	そこを上載層として使えないかということでそのしたに、
0:43:08	B F 4 の下にいるような事案総計がないかどうかというところを、
0:43:15	そういった評価ができる適地かどうかというところからになりますけれども、そういった今までとはちょっと違う観点での検討をやっているという中身でございます。
0:43:29	井谷です。だから今の段階ではあまりこうこうやればいいのかというのはなくってあくまで企画中というか、ここ以外にできることを探しているんで例えばの1例として、先ほど言ったようなこと。
0:43:45	或いはもっと他のことも模索しているっていうような状況なんですかね。
0:43:53	はい。森本です例えばということでP F 1 制限 1 断層かないのかという、
0:44:01	ところでご説明しましたけど例えば、追加で、
0:44:05	もう少しベリリウム点だとか、そういった放射。
0:44:09	性年代の評価もできないかという所、複数の手法。
0:44:14	いろいろできないかという、ちょっと、
0:44:18	現実的にできるかどうかわからないようなところも含めてやっているという中身でございます。
0:44:24	井谷です。そうやって模索して行っていく、いっていただけるっていうのは、我々としてもぜひですねそういった何回よさそうな方法がありそうなんだとかいうのがあればですね、
0:44:36	我々も聞きたいと思っておりますので、何かありましたらどんどん伝えていただけたらと思います。私の方の確認は以上です。
0:44:49	はい。それとすいません滝の方でその前にコメントしたこととの関係で、
0:44:56	先ほどどこだったっけ。何ページだ。
0:45:02	B F 1 の話があったのは、
0:45:07	ちょっとページどこでもいいんですけど、いわゆるそのB F 4 地点付近とか泥層付近とかっていう時に、調査する場所という意味での、
0:45:18	位置という意味での付近と、先ほどあったように、どの層、多田相良なのか、笠名の架橋松原なのかとか、どの層を探しにいくかっていう意味での何か付近が二つあるような気がしていて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:31	例えば、3、5 ページ目から 5 ページ目の一番上ばまさしく泥層の広がり なんで、これはどの層準とかではなくて、単なる 1 というこの広がりっ ていう意味での、
0:45:43	B F 4 地点付近だと思うんですけど、
0:45:46	いつも同じページの一番下からさっき言ったのは、泥層及び付近って言 っているのは場所という意味と、あとはその対象ねらいを定めている層 準が、
0:45:56	多分相良というおっしゃってた話があるので、
0:45:59	ちょっとそこら辺具体的にどの層っていうのをねらってるのであれば、 ちょっとそれはわかるように書いておいてもらいたいかなという。
0:46:07	はお願いします。
0:46:11	はい。森本です承知いたしました。基本的には場所の話で付近を使って おりまして 5 ページの一番下だけ、ここでみたいな感じになってるんで その辺は適正化させていただきます。多分同じページの上のところだと 古谷泥層上位層とか、
0:46:28	笠名礫層相当層のところが出てきてるので、きちんとそのどの層をねら い定めてるかっていうのは基本的には書いてあるってことですね。は い。
0:46:37	わかりました。すみません。
0:46:40	他、
0:46:49	カイダです
0:46:51	えとん中身の話になるのかわかんないんですけど例えば 9 ページとかの図 を見て、
0:46:57	あとそれまでの表とかでも、
0:47:00	今回あまり比木 2 地点っていうワードが出てこないようなんですけど、
0:47:05	この図の中でも青い線が、
0:47:09	楕円が比木 2 地点をあえて外してあるのか入ってないのか。
0:47:14	なんですけど、
0:47:15	さっきの、
0:47:18	何でしたっけ古地磁気とか使えるかどうかは別としてそういったもの は、
0:47:23	対比っていう意味であればこのもともとへも敷地としてた比木 2 地点で も含めてやるのかなと思ってたんですけど、
0:47:31	今回比木 2 っていうのはもう案、あんまりこう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:35	もう何もしないっていう、そそういう位置付けになってるんでしょうかそれともただ、ただ書いてないだけなのかっていう、そのあたりちょっと確認だけです。
0:47:46	はい、森本です。全く何もしないというわけではなくて先ほど梶田さんおっしゃったように、
0:47:53	何かそのBF4、
0:47:56	新しい指標として見つければ、もともと模式としていたところにそういった指標がちゃんとあるところを合わせて確認しに行く予定でありますので、その辺は
0:48:08	ちょっと今
0:48:11	まず注力するところということで、そもそも上載層であるところをしっかりと見ますという資料にしておりますけれども当然、
0:48:18	そこで来た指標は、もうちょっと広域の方に展開していく予定ではおります。
0:48:26	はい。はい、わかりました。今その辺も含めて今後検討されるってことで
0:48:32	承知しました。
0:48:39	はい。
0:48:41	とか。
0:48:44	すいません、1点だけ。
0:48:47	はい。
0:48:47	間瀬。すいません規制庁鈴木ですけれども、ちょっと同じ9ページで最後もう1回確認だけしたいんですけど先ほどの黄色のBF4地点付近、
0:48:58	バンドなのかをWordのかあれですけど、同じBF4と同じような標高です。
0:49:04	勝菜乃花小穴の代わりとしてその内湾性の谷埋め堆積物だと思って考えているので、
0:49:10	であるとするこの調査を地点を調べれば出てくるでしょうと。
0:49:15	というのが小穴の神田の下に売るんですけど、
0:49:18	ただその2点目の方は、そういうふうに
0:49:23	別に仮定というか考えられるので、ということではあるんですけど、
0:49:28	だとすると逆に、
0:49:30	その考え方があってそうだとすると別のところでは出ないみたいな考え方もあるような気もするんですけど、その逆張りの調査は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:38	この黄色の線の中で入ってるんですけど。
0:49:50	お考えとしてこの範囲を市には出てくるはずで、別に別の範囲でてきてもおかしくないっていう考えなら、それはそれなんですけど。
0:50:01	ずっと後者の方割と考えを決め打ちして調査地点を絞る考えになるので、ちょっとそこを、
0:50:09	ササキです。よろしいですか。
0:50:13	はいすいません。
0:50:15	今、そう。
0:50:19	土岐さんのコメン等の
0:50:23	に関してですけれども、
0:50:26	やはりこの、
0:50:28	泥層というものがあるべきところにあって、内部
0:50:33	ない、付け発達史的にここにはないであろうと思われるところにはないっていうところも、
0:50:39	示していかなきゃいけないんですけども、
0:50:42	と感じてます。
0:50:44	ただ、ないのを証明するのなかなか大変なので、深度この深さまではなかったとか、
0:50:50	そういう表現にはなると思うんですが、ないところにはきちっとないというの、その示しながらやっていきたいというふうには思っています。
0:51:00	以上です。
0:51:02	はい。確かにないもの証明ってなかなか難しいので、一応この範囲内は、あるであろうという範囲なんですけどね記帳黄色い点線は、
0:51:15	はいモリモトです旧汀線の範囲内でもやはり地形のですね、でこぼこございますので、そういった地形の中で、ありそうなところにはあってなさそうなところにはないと。
0:51:29	いうところを合わせて指名するのがベストな答えかなとは思って、すいませんはいすいません。そういう意味で網羅的に今まであるところだけ示せていてないところは示せてなかったというところもございますので、
0:51:41	その面的な調査はやっていく予定であります。
0:51:46	はい、すいませんちょっと念のための確認でございました。はい。失礼します。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:01	規制庁の名倉です。
0:52:03	ちょっと私、
0:52:07	課題の認識のところと全体の資料の読み方に関してちょっと質問します。
0:52:14	まずう1ページ2ページのところ、
0:52:17	認識を共有化した課題に関して、ある程度、実際会合で発言された内容とかも踏まえて、
0:52:28	大分よくまとめていただいたなと思っています。
0:52:33	ちょっと一方で気になったことがちょっとありまして、1ページ目2ページ目で青字を指摘事項というふうに右上に記載してあるんですけども、
0:52:43	これについてちょっと認識を確認します。
0:52:48	この課題全体が指摘事項になるんじゃないかな。
0:52:53	そういう認識でよろしいですね。そういう意味で、1078回の会合の指摘事項ということでは、認識を共有化した課題全体を指摘事項として残すと。
0:53:04	そのうち、具体的な対応、今回の調査結果も踏まえて、実際評価で必要な内容については青字の指摘事項のところについてはしっかり個別に回答していくと。
0:53:17	いうふうな一応心づもりだということで理解してよろしいでしょうかまずそれが1点目の質問です。いかがですか。
0:53:26	はい。森元です。今名倉さんおっしゃった認識で我々もおります。そういった意味でちょっとこの
0:53:37	前回のコメントといたしますか
0:53:40	ご指摘事項といたしますか
0:53:43	ラップアップのペーパーですねというふうにまとめようかっていうのちょっと悩んだんですけどもそういった意味で、2ページ目に、(2)の部分。
0:53:52	個別の検討課題、個別の課題を踏まえて結論ということで、そういった個別全体個別の課題全体を、がもうそもそもが指摘事項なんだという意味で、
0:54:05	このナグラさんからご指摘いただいたところを指摘事項という形でまとめさせていただきました。ただ
0:54:12	課題全体が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:14	ちゃんと対応するということが指摘だという認識しております。以上です。
0:54:21	規制庁名倉です。わかりました。あと、資料の読み方なんですけれども、
0:54:27	今ちょっと1ページ2ページのところ特に1ページのところに、①から整理してあって①②っていうのは、どちらかというとその課題認識の中で基本的な部分として、
0:54:40	どういう三つの要素、これが非常に重要であることの認識の確認をしたということと、あと、②の地形学的調査についてっていうところについては主には、
0:54:50	事業者が施工している、地形学的な検討等に基づいてある程度全体の骨格を示しているところがあるので、その立て付け要は事業者としての評価の方針を、
0:55:04	前回会合の討論の中で確認したと、資料の中で確認したと、というのが②まで0②までで前回やったことだと思います。
0:55:13	資料の3ページ4ページのところに、概要って書いてあるんですけどこれ、実は読み飛ばしても、資料は読んでいけるっていう理解でよろしいですか。
0:55:25	要はこの資料がある等、3ページがあると、これ前回説明した論理であって、
0:55:32	今回、追加調査をし、して、何を重点化するかということを考えたときに、必ずしもこの論理にならない。
0:55:42	ということがあって、論理をもう1回見せられると、あれ、今回どういう、調査の内容に重点化を重点化してやるのかっていうところが実は見えなくなってしまうという、
0:55:56	欠点があってそういう意味で、3番は見ないほうがいいのかっていうのはちょっと見た感じの感想です。
0:56:02	4ページも概要として、①②はさっきも言った通りの位置付けなので、③以降、
0:56:09	がちゃんと課題認識をされた上での追加要素、追加調査項目が出ていれば③④⑤、
0:56:18	についてして詳細に説明していけばそれで事足りるのかなというふうにちょっと認識をしました。
0:56:26	そういう意味で3ページ4ページを読み飛ばしたとして、読んでいったときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:32	ちょっと見えないのは、事業者のもくろみ。
0:56:39	この調査の中で、どこに重点を置いてやってということが見えてくると。
0:56:45	要は、そうすると論理が大体こういう論理を施工しようとしているのかということが見える。これは岩田の卵の関係かもしれないけど、
0:56:56	こういう論理を施工してるんだったら、こういう調査を重点的にやる。
0:57:02	そんな時に補足的な要素としてこういうものを、があるというふうな形で、序列がつくんですけど、
0:57:10	そういったところがもくろみとしてまだ見えてこないなあと。これはやってみないとわかんないからやってから構成をしようかって考えてるところもあるかもしれないんだけど、
0:57:23	今何を重点化して一生懸命調査をして、やろうとしてるのか、その時に補足的な要素としてどれを、
0:57:32	要はその次に大事にしているのか。
0:57:35	そういうところがちょっと見えませんと。
0:57:41	あわせて多角的な視点での調査っていうのはもしかしたら、その重点的にやろうとしてる調査の結果が出なかったとしても、
0:57:50	そのときに、じゃあ論理を構成するときに、重要な要素が不足してしまう可能性があるのをそれを補うために何をするのかっていうのをいろいろなことを考えてますと。
0:58:02	ということが多角的な詳細による物証という中に入っているのかもしれないなど。
0:58:08	今そういうふうに見ているんですけど、そこら辺をですね、どこまで説明するかっていうのはその時の状況にもよるかと思うんですが、今のところ、これを見る限りは、
0:58:19	事業者のもくろみがちょっと見えにくいというのが私のこれを見た限りの所感です。
0:58:25	そういう意味で、モシイ可能であれば、何を重点化してどういうことを目論んで調査をしようとしているのか。
0:58:34	というところがもう少しはっきり見えてくると。
0:58:39	どれぐらい
0:58:41	今回追加調査をすることによって、論理構成がうまく流れるようになるのかどうか。
0:58:50	可能性としてちょっと見えて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:52	来るような資料であるといいなというふうにちょっと思いました。私からは以上です。
0:59:00	はい、中部電力天野でございます。ありがとうございます。衛藤。
0:59:04	名倉さんおっしゃられる通りで、
0:59:07	当然もくろみっていう観点でいくと、泥層の広がりの部分についてしっかり把握するっていうのと、重要だと思ってるのはやっぱり、
0:59:17	古谷泥層等笠名礫層のその上下関係です削り込みがあるようなところが、
0:59:23	ちゃんと見つけられるかといったところが非常に重要なポイントであろうというふうに思って調査の方は、開始しているところなんですけど、ちょっと今日時点でまだ、実は、調査、
0:59:37	自体が、農地転用なんか先週ぐらいに取れたばっかでまだボーリング始めたところということもあって、少しはと広く全部に力を込めてやってきますっていうのが今日現在、
0:59:51	の状況ですので、当然その中で、我々のもくろみとしていい部分が取れれば、その辺りしっかり御説明に加えさせていただきたいですし、そうではない場合であれば、
1:00:06	丸Dにあるように、
1:00:07	多角的な視点でまた少し、違う観点での証明というところの、
1:00:14	データもとっていきなという考えでございまして、今いただいたご確認いただいた内容でもう少しこの辺で、AとDたホンザイ上取りながらそれによって、
1:00:27	私たちのもくろみがこんな感じで、ロジックがこう進んでい。
1:00:34	データがそろった時点でご説明できるというところをもう少しわかりやすいように、構成は考えたいと思います。
1:00:45	規制庁の名倉です。
1:00:47	10ページの追加調査工程でいくと、
1:00:52	これの1列目が多分最も重視をしているところで、
1:00:57	これを今早期に着手をして、重点的に、
1:01:02	検討している項目。
1:01:06	ということですね。
1:01:09	それでは、
1:01:11	それでおそらく、Cとしているもの。
1:01:17	Bっていうのは、もしかしたらその特にBとかは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:23	これはちょっと補足的にやっていく要素になるかもしれないで、
1:01:30	いかに、
1:01:31	この一番上の項目について、
1:01:35	ちゃんとしたデータが出せるかによってこれが出てくれば、
1:01:38	次に重要になるのは、下から二つ目ですかね。
1:01:43	Cとしてるところ、ここら辺も含めてデータを厚みを増すということなのかもしれないですけどし二つ目か。
1:01:50	五つ目かな。ここら辺が、やんなきゃいけないことなのかもしれないんですけど、ちょっと何か、そこら辺少し、
1:02:01	どういう、何て言うのかな、今回の課題認識を、
1:02:07	踏まえて、
1:02:09	どういうふうな論理構成を施工してどこに重点化するのかってのはちょっと、
1:02:15	また、
1:02:17	もう少し検討が進んだ状況で、具体化できるんだったら具体化してそれが方針なのかなというふうにちょっと思うんですけどね。
1:02:27	今の段階で方針ということで、この内容を説明されてもおそらく、
1:02:32	何かこう、何も見えてこなくて、何かやるなあと。
1:02:38	という状況に比嘉すぎないような気がするんですけどここら辺、
1:02:43	もう少しいろいろ事業者の方で、基本的ないろんな調査をし、していく中で、もう少し具体的にもくろみとか方針をいえるようになるっていうのは時期的にはどれぐらい。
1:02:57	ぐらいなんですかね。
1:03:00	それをちょっと今日、私は聞いてみたかったんですが、
1:03:05	はい。中部電力浜野でございました。ありがとうございます
1:03:10	名倉さんおっしゃる通りで10ページで一番上のところが、もくろみとしてまず一番重要だと思って今、鋭意進めているところになりますんで、
1:03:21	その下ぐらいのところ確かに、前回まで説明してきたことの補足であったり、少し新たな取り組みと、
1:03:32	というようなところもありますので一部歩前回の補強になるようなところで、正直、現時点でも、もう少しもくろみ或いは個々の
1:03:42	軽重は付けられるかなというふうに考えております。ただある程度の結果を伴った上で、っていう話であれば、どうですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:56	今ボーリング始めてるところなんで、もう1週間2週間すれば、ある程度見えてくるかなっていう気はしているところでございます。
1:04:06	ただ、一番上の、珪藻の分布状況っていうところ、ここ県土上って書いてございますが、こちらについては、農地転用の前からやれていて、
1:04:16	ある程度、BF4の付近でもですねもう少し泥層層が分布しているところなんかは確認できていますので、以前よりは十分その広がり、
1:04:28	というところのご説明はできる状況にはなりつつあるというところでございますちょっとボーリング自体が今週ぐらいからしか始められてないのでまだ、土肥。
1:04:39	1本とか2本っていうオーダー感ですので、もう1週間、2週間すれば、そこそこ、この最重要な部分のところが見えてくるんじゃないかなというふうに我々としては期待しているところです。
1:04:58	規制庁の名倉です。
1:05:02	ここ後1、しばらくはちょっとまだ、
1:05:07	実際の
1:05:09	見通しも含めた形での、
1:05:12	調査方針というか、追加調査の方針というのは、まだ、
1:05:17	何ていうかもくろみも含めて、示せる状況ではないということで理解はしました。
1:05:25	以上です。
1:05:32	ノダですけど、
1:05:34	2. よろしいですか。
1:05:39	渋谷山野ですお願いします。まず1点目は、2回の面談を
1:05:47	前てということですけど、非常にわかりやすい資料にまとめていただいて、ありがとうございました。多分、
1:05:57	御社としっかりコミュニケーションができれば、こういう資料を準備していただけるということがわかりましたし、多分これから
1:06:07	追加調査、トライアンドエラーの部分もありますし、時々刻々状況が変わってくると思いますので、ここは引き続きしっかりコミュニケーションをとらせていただいて、双方目指しているところは多分同じだと思いますので、
1:06:22	そこになるべく早く到達できるように、我々もしていければと思っております。それが1点目です。あと2点目は、さっきの名倉さんのコメントに関連するんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:35	ちょっとこれご参考までに、私がこの資料を見たときの、整理についてをちょっとお伝えすると、例えば、
1:06:44	個別のその課題への対応方針という意味でいうと、5ページに泥層の調査っていうものがある、多分これを勝手に私、とかにしてるんですよ。次が、
1:06:55	6ページ目が、泥層と古谷泥層との比較っていうことで例えばこれを意味して、最後、7ページ目の、泥層と古谷泥層以外の堆積物との比較を、とする。
1:07:09	するとですね、これを、さっきちょっと名倉さんが言われていた3ページの対応方針の、この下のフローに当てはめるとすると、
1:07:21	例えば、
1:07:23	AとかB、この辺が多分案に該当して、下の方から、下の方ですかね、椎野泥層のところは多分、Iに該当して、
1:07:35	真ん中はこの左のところですかね、局所的な掘出堆積物との比較が、
1:07:41	これに該当するっていう、こういうことなんですかね、ちょっとまずここを確認させてもらっていいですか。
1:08:00	はい。中部電力の折本です。
1:08:08	少し切り口の値が良いなのかもしれませんけれども、
1:08:13	例えば5ページ、
1:08:17	小野田さん今としていただいた泥層の調査について、
1:08:21	ですけれども下の表でまとめておりますけれども、
1:08:27	真ん中の列、解決済み向け求める部署ということで、
1:08:32	例えば、泥層の分布状況がわかることによって、マルAとしておりますけれども、
1:08:39	広域的な地層だということがいえるように、
1:08:42	なる可能性があったり、
1:08:45	その下、
1:08:49	他の都合と層位関係がわかることによって、古谷泥層株だということがより確実性が増したりということで、こちらは緑の丸シート、
1:08:59	しております。こういった泥層調査するだけでも、このABC、
1:09:05	課題、課題のためのポイントを課題解決ポイントだと
1:09:11	いう三つの内容の
1:09:14	いろんな観点での解決に繋がっていくと。
1:09:16	いうふうに考えておまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:18	それと先ほどの都丸さんの、
1:09:24	のところの関係ですけれども、フローの中でABCと、
1:09:30	書いておりますけれども、これはのポイントと、になっている三つの題目になります。
1:09:39	先ほど泥層の調査一つでも、
1:09:43	広域的な土層だという観点だとか古谷泥層に近い対比されるんだ、AとC、それぞれに、
1:09:51	効いてくるといいますか。
1:09:53	プラスに作用する結果を期待して今調査していると。
1:09:59	いう整理を今しておりますちょっと
1:10:02	同じその調査のくくりの中でも、いろんな
1:10:06	ポイントに効いてくるといいますか、そういった、
1:10:11	整理を今してございます。
1:10:14	森本さんご説明ありがとうございました。わかりました私がちょっと誤解してるところもわかりましたし。おっしゃられる通り、確かに私がいいうつけたもののそこには、ABCという、
1:10:28	クリームなんていうかねその分類分けもあるんで、それが一対一対応していないということもわかったんですけど、そうであるとする、やっぱりさっき名倉さんが言われていた、このフローって、
1:10:41	こうなのかなとちょっと、すみません、私今、明確な答えが見つかるわけじゃないんですけど、このフローの整理ってこれでいいのかなとちょっと。
1:10:51	思ってしまったんで、すみませんそこはちょっと私ももう1回この資料を、
1:10:59	見返して、
1:11:02	この対応方針の概要ということ、という観点で、どういうことを、
1:11:08	どういう形で示せば、ここ今回御社が追加調査されている。
1:11:14	ことを、何て言うんですかね。
1:11:18	一目でわかりやすく、
1:11:21	伝えられそこに、
1:11:22	必要なエビデンスが何でそれが足りてるのか足りてないのか、どこに重きを置かなきゃいけないのかっていうことがクリアになるのかなということがわかっていましたんで、すみませんはい、承知しましたどうもありがとうございます私から以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:38	森本です皆さんありがとうございます。
1:11:42	3 ページのフロー図が適切なのかというご指摘でした。さっきの名倉さんからのご指摘にもちょっと通ずるものがあるかなと思って伺ってましたけれどもまず3 ページ目。
1:11:55	3 ページで示しておりますが
1:11:58	前回のこの図体等にも書いてありますけども前回の会合で、こういったロジックといいますか、説明の流れで、
1:12:08	ご説明させていただいて、会合の中で、
1:12:13	前回の
1:12:14	9 月の会合で我々が説明したことに対して、ポイントはここだよねという事で
1:12:21	N R A の皆さんと我々と共通で課題を認識したという立て付けで前回の課題の位置付けはここだという意味でこの図を、
1:12:29	入れさせていただきます。
1:12:32	今回追加調査をすることによってどの部分が補強されてくるのか。
1:12:38	どの部分が補強されないのかっていうところが、この後明らかになってくるということで、その状況に応じてこの論理については必要に応じて再構成、
1:12:50	するというのを書いているのがこの箱書きの3 ポツ目になります。
1:12:55	ただ、そういった内容であってもですね受調査の重点の入れ方がわからないと。
1:13:04	その調査が適切かどうかというところの議論の、
1:13:08	そ、
1:13:10	議論にならないじゃないかという棟方さんからいただいたお話はその通りでございますので、ちょっとこのあたり調査結果の
1:13:18	でかた野間税所の出方を見ながらですねもう一度少し整理していきたいとは思っております。
1:13:25	以上です。
1:13:27	野田です。森本さんご説明ありがとうございますよくわかりましたし、多分、
1:13:33	この3 ページの
1:13:38	フローっていうんですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:41	さらに付け加えて多分この3ページのフローで、表現できていない部分も多分追加調査結果としてえられる可能性があるかもしれないですね例えば5ページ目の泥層の調査のところで、
1:13:53	層位関係なんかが直接わかれば、もしかしたら、
1:13:59	ここをバイパスするような結果ってあるのかなと思っているんで、ちょっといずれにしても、
1:14:06	これは前回の
1:14:09	審査会合での説明と、あとは今回の追加町さあでの
1:14:17	調査項目を当てはめましたっていうことで、わかりましたけど、まあまあ整理が必要だっていうことを、少なくとも私は私も多分名倉さんもだと思んですけど、認識できたんでその点は確認できました。ありがとうございました。
1:14:35	はい。
1:14:36	他、地質のこの調査の関係で、
1:14:40	よろしいですか。
1:14:47	はい。ではですねでは、ヒアリングの1点目については、これで終了したいと思います。
1:14:56	では入れ、あれですかね御説明の方を入れ替えるんですかね。
1:15:03	はい。中部電力天野です。すぐく関川ります。少々お待ちください。お願いします。
1:15:27	中部電力浜野でございます。はい。準備整いました。よろしくお願いたします。
1:15:34	はいそれでは本日のヒアリングの2点目基準地震動検査日等の審査スケジュールについて、こちらを説明の方お願いします。
1:15:46	はい。中部電力天野でございます。10月14日付で提出させていただいております浜岡原子力発電所基準地震動基準津波等の審査スケジュールについてと、
1:15:57	いう資料についてご説明をさせていただきたいと思います。
1:16:01	2ページ、ご覧ください。
1:16:05	この資料構成としましては、4ページと5ページで今までの地質、地震動、津波、それぞれの審査の進捗状況とか対応状況について概要で、まず、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:18	ご説明を入れてございます。で、二つ、2番の審査スケジュールということで6ページ7ページ見開きで見れるようにしてございますがこちらで、今後、
1:16:30	の特に地質で追加調査をすると、いうことがありますのでその期間中に地震動と津波を進めていただきたいというところのお願いを記載しております。
1:16:42	そして、8ページ以降で9ページから15ページでそれぞれ地質と地震動津波の討議、現在の審査の所、進捗状況や対応状況の詳細について、特に、
1:16:55	沿い、
1:16:56	先行他社でやってきた課題の取り入れ状況或いは浜岡固有の課題の対応状況に合わせて、今後審査係に、
1:17:06	その遅延してしまうような課題っていうのが何か見えてないのかというところの対応状況について整理してございます。今日は、市場の、
1:17:17	概要のところではなくて後ろの詳細の方、それぞれ各担当から、後程説明をさせていただきたいと思っております。
1:17:26	3項については、今まで
1:17:29	地質や津波の中でまだ審査続いているところでいただいたコメントを参考でつけさせていただいております。
1:17:42	3ページに、第1078回の審査会合におきましてご指摘いただいたコメントを書いております、プラント審査の前提となる自然ハザードとして基準地震動及び基準津波に関する、
1:17:56	審査スケジュールについて審査会合において説明すること。
1:17:59	ということで、解雇回答といたしましてプラントは、阪神佐野再開の前提となる、基準地震動、基準津波等の審査スケジュールについて、各審査項目の審査状況、先行審査における論点、
1:18:14	浜岡固有の論点体の対応状況等を示した上で今後の審査の時期、順番等について当社の要望をご説明させていただくというふうにさせていただきます。
1:18:26	4ページ5ページは先ほど申し上げた通り概要を示しております。本日は、詳細の方でご説明をさせていただこうと思っております。
1:18:36	6ページと7ページ見開きの部分をお願いいたします。
1:18:41	下の7ページのバーチャートをご覧いただきながら、6ページの方の文章の方でご説明させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:51	まず一番最初審査の進め方全般ですが、第 1078 回の審査会合において、認識した課題に対し、敷地の地質地質構造は全力で追加調査を進める予定であるが、
1:19:04	次回の審査会合までにはし、時間を要する見通しであるとしております。一方で 2002、22 年 9 月 2 日の C N R A 意見交換会におきまして、
1:19:16	基準地震動や基準津波審査の進捗を踏まえて、先行的にプラント審査を実施していただくことについてご理解を経られていると、いうことから当社としては、できるだけ早く基準地震動及び基準津波を確定したいと考えております。
1:19:32	このため、敷地の地質地質構造の追加調査を進めている期間に重点的に、基準地震動、基準津波を審査会合に図っていただくとともに、
1:19:42	来年 3 月までには 345 のプラント班のまとめ資料も提出させていただきまして、プラント班の審査再開につなげたいと。
1:19:51	いうふうに考えてございます。
1:19:53	基準地震動基準津波の進め方については、バーチャートに記載しているのと合わせておりますが、基本的に基準地震動、基準津波ともに、
1:20:04	事前に先行審査における論点、浜岡固有の論点に関する説明を資料に反映した上で、審査が遅れる要因についても、自社で可能な限り対応するとともに、
1:20:15	規制庁様と、早期に議論を行うことができる準備を進めさせており、資料は概ね作成済みであることから、具体的には、以下のスケジュールで審査いただきたいと考えております。
1:20:28	基準地震動につきましては、2002、20 年以内に震源を特定せず策定する地震動で年が明けてから、年度内に基準地震動野木審査をお願いしたいと。
1:20:41	基準津波につきましては、年内にプレート間地震の津波と、それとその他の津波、それぞれ個別の津波発生要因の審査をいただいて年が明けてから年度末に基準津波、
1:20:54	特にこれは津波の組み合わせの部分の審査をお願いしたいというふうに書いております。
1:21:01	敷地の地質地質構造につきましては、す。先ほど資料のご説明をさせていただきましたが泥層の広域的な分布、笠名礫層による古谷泥層の削り込みの探索、その他年代特定に資する新たな物証の調査など、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:16	その追加調査を全力で、年末から年始を目標に取り組む予定でございます。BFオオノトレンチなんかも再度掘削を考えているというところで、可能であれば、
1:21:28	当該追加調査期間内で耐震班事務局の方に現地確認していただき、
1:21:33	調査状況をじかにご確認いただければありがたいというふうに記載させていただきます。よろしくお願いいたします。
1:21:39	また、敷地の地質地質構造の審査のプラントファンの審査と並行して進めさせていただきたいというのもお願いです。
1:21:47	その他としましては、火山、基礎地盤については、基準地震動、基準津波の審査が終了した後、審査を進めていただきたいと。
1:21:55	というのが、全般のお願いを記載していただいております。よろしくお願いいたします。
1:22:00	8ページ以降で、先ほど申し上げた通り、それぞれの審査項目の詳細書いてますので、それぞれの担当から簡単に説明をさせていただきます。
1:22:13	はい。中部電力森元です。9ページをお願いします。まず敷地の地質地質構造についてです。先ほど資料の方でご説明させていただきましたが、
1:22:23	今回の予定のコメントといたしましては前回9月の会合、9月末の会合でいただいたコメント課題に対して解決を図っていくところを対応させていただきます。
1:22:35	一番対応状況でございますけれどもこちら先ほどご説明した通りです、青字の部分。
1:22:41	先ほど天野からもありましたが、追加調査を年末から年始目標に検討、一部実施をしております。
1:22:49	今後調査状況を確認しながら、対応していく予定でございます。方針については先ほどの資料でまとめさせていただきましたが、会合の場で報告させていただきます。
1:23:02	一番下のポツになりますけれども、追加調査の結果によりましては、調査期間の変更を、計画の変更も必要になる可能性がございますのでこのあたり工程をしっかり管理し、
1:23:12	必要に応じ、変更の場合は会合で報告させていただく予定でございます。以上です。
1:23:22	中部電力の岩瀬です。引き続き基準地震動の部分について説明させていただきます。10ページをお願いします。まず残りの震源を特定せず策定する地震動ですが先般、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:35	ヒアリング資料を提出させていただきまして、そのうち主な論点と考えているところをまず説明、紹介させていただきます。
1:23:45	で、大きく先行審査での共通の論点と浜岡の特注オオノに基づく論点ということで分けて、この後も記載させていただきますが、
1:23:55	まず先行サイトの共通の論点としては、主に標準応答スペクトルでございますが、地下構造モデルをどうするのか、あと先行サイトに合った地震規模、この地震規模を適切に模擬版、
1:24:09	の作成の際に設定しているのか、あと、茂木派を作成する際に複数の方法で確認しているのかということがこれまで先行審査で議論になってきたと思いますので、
1:24:21	それらについてそれぞれ、ここに記載、もうすでにヒアリング資料を出しておりますのでその通りなんですけれども、それぞれヒアリング資料に入れ込んでおりますので、
1:24:34	それについてご確認いただければと思っております。一つ浜岡の特徴に基づく論点としては、これは柏崎刈羽と同じなんですけれども、
1:24:46	李駿河湾地震において県地震動の顕著な増幅が確認されておりますので、これに対して1次元地下構造モデルを用いて標準応答スペクトル等を評価することの妥当性を、
1:24:58	柏崎刈羽に倣いながら我々として説明を記載したヒアリング資料を作成しておりますのでこちらについてもまたヒアリング等で確認いただければと思います。
1:25:11	続きまして11ページに、基準地震動の策定に関して整理してございます。こちらについても論点について紹介させていただきますが、まず先行審査の共通の論点としては、
1:25:23	基準地震の策定方針、特に断層モデル法の
1:25:28	個別選定の辺り、あたりを明確にどういう方針で策定しているのかというのを説明を求められていると考えておりまして、
1:25:40	それについてはちょっと先行サイト最近も開かれておりますのでそれを見ながら今、どういう的説明が的確かということを随時検討中でございます。
1:25:51	一方で浜岡の特徴に基づく論点としてはやはり免震構造の採用というところが大きいと思っております、その免震構造の採用について、別途基準地震動を作成する必要があるのかどうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:05	これを免震構造の固有周期を踏まえて、別途、基準地震動のを策定しない方針と考えておりますのでそれについて説明することを考えてございます。
1:26:15	もう一つは、
1:26:18	基準地震動の妥当性の確認として、免震構造のガイドでは、断層モデル法による地震動評価結果の比較ですとか、国交省等の基整促波との時刻歴派遣の比較。
1:26:32	等を求められておりますので、こちらについても、準備をしてございます。
1:26:37	その他、これ当初申請時に、
1:26:40	説明したときに少し指摘されているところでございますが、応答スペクトル法に基づく基準地震動において、水平度と鉛直動の比率についてその妥当性を、
1:26:50	説明するよというコメントをいただいておりますので、こちらについても、断層モデルを用いた地震動評価結果の比率の特徴を踏まえて設定していることを説明する資料を用意してございます。
1:27:04	その他ちょっと欄外に※で記載してございますが、松原 T a l l 2021 のプレート境界の深さに関する少し確認、実際に地震動評価をやって確認するよというコメントをいただいておりますので、
1:27:18	こちらを忘れないよということで記載させていただいております。説明。
1:27:23	基準地震動は以上です。
1:27:27	はい。中部電力の盛です。12 ページから津波になります。まず、12 ページ、プレート間地震の津波ということで、評価の概要は現在のものを書いております。
1:27:38	あと昨日ヒアリングの資料を提出させていただきましたので、ヒアリングも12月、11月7日に設定していただきましたので、またご説明させていただければと思います。
1:27:48	これまで審査会合延べ8回実施してきておりまして、今後改定予定のコメント対応状況ということで、今いただいているコメントを三つ書いております。
1:27:59	これまでの審査会合を踏まえて、かなり論点も絞られてきておりますので、特段、これ以上の論ではないというふうに考えております。
1:28:07	続きまして、13 ページに、地震以外の要因による津波について記載しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:14	こちらの2年前に、審査会合を実施していただきまして、
1:28:20	それ以降プレート間の方に修理注力しているという関係で、少し間があいておりますので、評価の概要をもう少し細かめに書かさせていただきました。
1:28:30	これまでの審査会以降、野辺さん会実施しておりまして、今後回答予定のコメントと対応状況として、基本的には説明の方法だとか影響評価の方法について、コメントをいただいているものです。
1:28:45	残る方、コメントとしては、説明の方法の整理もしくは影響評価の方法の整理という説明の、整理が中心でありますので、大きな値NEというのは想定していないという状況です。
1:28:59	続きまして14ページが、プレート間地震の以外の地震による津波ということで、海洋プレート内地震、活断層による地殻内地震の津波についてを記載しております。
1:29:11	こちらは、
1:29:13	ヒアリングで一度ご提出させていただいたことがございますけれども、プレート間地震の方に注力するというので、間があいているものになりますので、評価の概要は現状のものを
1:29:25	簡単に記載させていただきました。
1:29:27	で、論点とその対応状況ということで、先行審査に基づくものということで、
1:29:34	特にプレート間地震の影響が再度大きいので、他のプレート間地震の影響が大きい先行サイトさんと同様に、プレート間地震法のパラメータで実施せずに、プレート間地震の影響が支配的であるということと比較分析の上、
1:29:49	評価をしていると、ところがございます。
1:29:52	また、浜岡の特徴に基づく論点ということで、
1:29:57	先に
1:29:59	審査をしていただいています。海洋プレート内地震の地震動評価、活断層の地震動評価。
1:30:05	もしくは、活断層のちょっと審査結果の反映というところもきちんと反映できているかということも、ご説明させていただきたいと思えます。
1:30:14	で、審査がマーチンする要因の有無ということで、基本的には、支配的な波源ではないというふうを考えておりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:22	大きな遅延よりは、現在のところを想定してございませんで、ただ、プレート間地震でかなり細かくパラメータサジ実施させていただいておりますので、こちらの
1:30:33	プレート間地震以外の地震の波源についても、同様に網羅的なパラメータスタディを実施するという必要が生じる場合には、解析数に応じて時間を要す可能性がございますので、
1:30:45	きちんと影響評価を実施して、プレート間地震の波源が支配的であるということをご説明させていただきたいというふうに思っております。
1:30:53	最後に 15 ページが、津波の組み合わせということでございます。
1:30:58	こちらまだヒアリングでもご説明してない内容になります。評価の概要としては、地震による津波及び地震以外の余裕津波の検討結果を踏まえて、
1:31:08	因果関係があると考えられる津波発生の組み合わせを抽出して、
1:31:14	することとし、現状では、南海トラフのプレート間地震と、会計事務組合の組み合わせについて、検討しております。
1:31:22	論点として、先行審査に基づく共通の論点としまして、
1:31:27	現在も審査で議論中かと思えますけれども、津波を組み合わせる時間差の検討方法、
1:31:34	及び、津波の組み合わせ時間を検討する評価地点について、先行サイトの状況を確認しながら、紙資料作成を取りまとめております。
1:31:44	また、浜岡 2 の特徴に基づく論点としまして、津波の組み合わせの対象とする波源の選定、
1:31:51	特にプレート間地震では、かなりのパラメータスタディをしておりますので、その中でどれを組み合わせるのか。
1:31:59	改定でフィルについても、多くの時点で計算を実施しておりますので、そのうち影響が大きいものはどれかと、組み合わせの結果として影響が大きいのかどれかと。
1:32:08	いうことを、きちんとご説明させていただければと思っております。
1:32:12	で、審査が遅延する要因の有無ということで、
1:32:16	組み合わせの議論が継続しておりますので、そちらから共通の論点として、他の対応が発生して時間を要するというところもあるかと思えます。
1:32:26	まず当社として、科学的に妥当な津波のくみ上げの方法の説明の構築というのが必要かと思っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:33	また、津波の組み合わせ対象と波源の数が増えると、組み合わせの数も増えて、解析図に応じて時間を要するという可能性があるということを書いております。
1:32:44	こちらについては、検討方針の整理ということとともに、解析結果の
1:32:50	傾向の分析というのを行って、津波の組み合わせの結果として、きちんと一番大きいものを選ばれているということの妥当性が説明の鍵になるかなというふうに考えておりますので、この辺りをきちんと整理してご説明させていただければと考えております。
1:33:05	津波についても、以上です。
1:33:07	16 ページからは、先ほど天野が申し上げた通り、これまでの審査でのコメントの回答状況を、現在、残っております敷地の地質地質構造と基準津波について掲載しております。
1:33:20	説明は以上でございます。
1:33:25	はい、形状スズキですご説明ありがとうございました。
1:33:29	一応今回の趣旨は御社としての想定希望ですねという流れで、審査を進めていきたいのかということもお聞きするのであんまり細かい
1:33:42	ところ一つ一つという形には確認しませんけれども、
1:33:47	なのでスケジュールでいうと 6 ページ 7 ページのところになってきて、6 ページが補文書で希望を書いている 7 ページがそれを落とし込むところなるんですけど、
1:33:59	ちょっとさ、さっきの実地構造のところ先ほど具体的などんな調査やるのかをお聞きしてはいるんですけど一応こちらの資料上だと、
1:34:09	年末年始を目標と言っていて、ただ先ほどの資料だと、ちょっと調査で実際に思ったところか出てくるかっていうところもあるので、
1:34:20	結構倍半分なところもあるんですけど、
1:34:22	一応こちらの審査全体のスケジュールだと、年末年始ぐらいに追加調査が終わって、1 月の終わりぐらいに資料が出てきて、
1:34:32	そうするとその隣で基準地震動や基準津波の審査をする形になるんですけど、
1:34:38	これは一応そのなんか最も目標通りに追加調査が進むと、本当に年末年始ぐらいに調査が終わるっていうそのぐらいのもくろみなんですかね。
1:34:51	はい中部電力浜野でございます。
1:34:54	こちらの資料の 7 ページと先ほどの対応方針、課題への対応方針の 10 ページは基本的に整合させておまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:05	まず年末から年始ぐらい、1月途中ぐらいまでには、
1:35:11	調査はまず、今描いているものはすべて終わらせるという、半数を入り込んで対応していきますので、鈴木さんおっしゃられる通りそん中で、
1:35:22	若干当然トライアンドエラーが出てきて、思うようなデータが出ない或いは思うようなデータが出た結果としてそっちに重点を置くというところで多少工程のリバイスはありますが今描いて今日ご説明させていただいたような、
1:35:37	調査項目は、年末までにまずやり切るという、ポーリングの半数だとかを入れていくということで、整合はさせております。
1:35:49	はい。ちょっとなんか実践の範囲と波線の関与はあまりちくちく詰めるつもりはないのですけど、
1:35:56	一応今、今回、審査全体のスケジュールだと実線が12月末ぐらい1月頭まで引いてあって1月中に点線が引いてあって、
1:36:06	さっきの実質のやつだと、物によりけりで、やっぱり多分これ、調査として重要なものと、補足的にやってそのものももしかしたらあるのかもしれないですけど、何か1月の
1:36:17	中旬以降下旬ぐらいまでですかね、BF1地点のフレアレーション操作の分布調査っていうのは何か1月下旬ぐらいまで実線が引いてあって、
1:36:27	またちょっと戻ると、この審査全体のスケジュールで引いてる赤の実線は、
1:36:33	やっぱり日、泥層の詳細な分布、
1:36:37	ですとか古谷城イソダ笠名との層位関係とか、うん何かしら主要なもの、
1:36:45	としては、
1:36:47	年末から年始を目標に、
1:36:49	やりますって、そういうお互いの読み取り方でいいですか。
1:36:54	中部電力浜野でございます。はいおっしゃる通りで、先ほどの資料の一番上、もう、すいません自分たちが整理できてないだけなんですけど名倉さんのおっしゃる通りで、
1:37:04	我々のもくろみとして一番重要視しているのが一番上のところになりますのでそれを、先ほどの今の審査スケジュールの方にも落とし込んでいると。
1:37:15	いうものであります。
1:37:20	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:21	あと6ページ目同じく2、年末年始目標予定であるなどのBF4のトレンチも再度掘削予定って言うてるのは、
1:37:31	これは、
1:37:33	これはでも同じですよBFの再掘削予定だから、さっきの資料で言えば一番上ですよ。
1:37:41	これも年末年初目標の、
1:37:44	中にかかっているんですね。
1:37:47	はい中部電力浜野ですおっしゃる通りでございます。これ、ただ、ちょっとBF4のH系の上載層のところっていう意味ではなくて、先ほどもちょっとご説明した通りBF4付近、
1:37:59	さらに泥層層っていうのが、県土上の要は確認できているのでここをトレンチ掘ったりして、掘削してきますよという思いで書いてちょっと日本語が
1:38:10	正しくないんで少し表現だけ適正化させていただきますが、新たにこの広がりを見られるようなところをちゃんとトレンチを掘りますという意図でございます。
1:38:21	先ほど言ったBF4付近っていうのも含んでるって意味合いですね。はい。
1:38:32	はい。一応流れとしては、残り時基準地震動の方が残りが特定せずと基準地震動で津波の方が、
1:38:42	ここの津波評価の方があるので、それぞれ若干タイムラグありつつも、年度内には順調にいけばできるでしょうというのが御社の規模ですね。はい。
1:38:53	個別のところの課題というか対応状況のところはあんまり1個1個細かくは、
1:39:01	詰めませんが、
1:39:05	ちょっと一応ご希望だけ確認しておきたいんですけど。
1:39:10	先ほど7ページだと現地確認とか現地調査現地調査は一旦会合で聞いてそれを確認しに行く話なんで、大分追加調査結果に依存するんですけど、現地確認のところが、
1:39:25	一応12月末のところは一応星が掘ってあって、
1:39:32	これは一応追加調査期間内でって言うてるのは、6ページは特にあまり、どういう趣旨では書いてないんですけど、9ページのところで一応これはある程度調査結果が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:45	出てきたら、その結果を確認して欲しいという、
1:39:50	趣旨としては、ある程度結果が出たら、結果も含めて、
1:39:55	少し事前に現地を見てそれから議論したいというのが一応御社の希望ってことですかね。これは、
1:40:04	中部電力天野でございます。すみませんちょっと整合がとれてなくて9ページは調査結果って書いてるんですけど。
1:40:12	6ページは、調査状況と、
1:40:15	いう書き方で我々としては、調査状況を見ていただきたいなと思ってますんで6ページかなと思ってます思う。
1:40:25	先ほどご説明した通り、調査自体は今もう始めていますので
1:40:33	可能な範囲では早めに、まず状況をご確認いただいた方が、ありがたいなというふうに考えてますのでちょっと表現は6ページの方に、
1:40:44	修正させていただきたいと思ってます。
1:40:48	この時期についてもですね少しもう少し前を見ていただきたいなという思いがありますのでここは修正させていただきたいと思ってます。
1:40:58	すみませんあんまり時期とかそういう話はそんなに、
1:41:03	すみません何か御社の希望がコロコロ変わるとそれはそれで、
1:41:07	会合にかけるとき困るんですけど、別に私、状況とか結果って書いてあるものを、何か整合してないんだというつもりはなくて、
1:41:16	調査上、進捗状況っていう意味で、その中には当然、早く調査したものはある程度、この途中までこんな結果がえられてますっていうものも含まれると、すみませんそのぐらいの理解でき聞いた次第です。
1:41:41	あとは個別の項目のところはあまりこの段階で聞いてもとは思っ
1:41:48	たんですけれども、
1:41:52	14ページの津波からプレート間以外の地震のところ、
1:41:57	小浜ほかのプレート間地震相当のパラメータスタディを行う必要がないって言うてるこの相当のっていうのは具体的に何か、どんなものを、いりませんっていうような、
1:42:07	説明を、
1:42:10	しようとしてるんですが、まあまあ議論するつもりがないので、例えばみたいなもので結構なんですけど、
1:42:19	はい。中部電力の盛です。例えばプレート間地震の津波評価であると、
1:42:25	今概略パラメータする詳細パラメータ種類というふうに順序を追ってやっていってまして、そのうち概略パラメータスタディで影響が大きいも

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	のと、それに近いものみたいなところも、詳細パラメーターさんに送った上で、
1:42:38	さらに詳細パラメータ整理も、幾つの項目があるので、結構網羅的にやっているというようなところもございます。で、影響度が違うので、海洋プレート内地震海域の活断層については、そこまで網羅的に
1:42:53	一番大きいものを見つけていくというよりは、
1:42:57	プレート間地震の影響の大きい高いと、参考にしまして、プレート間地震よりは影響度が小さいということをお示しできれば、
1:43:05	いいのかなというふうに考えているということに記載しております。
1:43:10	そういう趣旨ってことですね。はい。次、15ページなんですけど、一番上に
1:43:17	プレート間地震といっても海底地すべりの組み合わせについて検討するとなってるんですけど、一応これは当然ながらプレ、
1:43:27	組み合わせの元になりそうなのはプレート間地震っていうのはわかるんですけど、これとこれが組み合わせるっていうのは、一応全体ですねせやあらゆるあらゆるというか津波の、
1:43:38	要因を考えて、組み合わせの検討して、その結果
1:43:43	プレート間と書いて整理の組み合わせっていう、その前段の検討もちろん御説明あるという理解でいいんですよねこれは。
1:43:51	はい。中部電力野間です。おっしゃる通りです。現状方針として
1:43:56	因果関係があると考えるものは組み合わせるという中で、影響の大きいものとして、プレート間地震の津波と海底の津波の組み合わせを中心的に検討していくということですので、資料の
1:44:09	中で、ご説明させていただければと思います。
1:44:13	はい。なるほど。一応この御社がおっしゃった基準地震動基準津波これを見通しを早めにとということで、これについて課題と対応状況を上げたということですね。はい。
1:44:27	んさ、介護の方は
1:44:31	全体スケジュールの希望を想定感を、
1:44:35	お聞きするぐらいの話ではありますので、はい。私からはとりあえず以上です。
1:44:44	すいません。全体のざっくりとしたスケジュールを聞きましょうという趣旨での、前回会合なので、
1:44:51	特に何か今のうちに聞いておきたいことある方はおられますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:02	はい。それでは、こちらの方は以上で終了したいと思います。
1:45:10	ちょっと先ほど筒井。
1:45:13	現地確認のところとかを、星印を少し直すようなご趣旨もおっしゃって たんですけど、あまりそこら辺希望がふらふらされると困るんですけ ど、これ、
1:45:23	一応予定って、この基本的に修正なしのつもりでうちは、
1:45:29	ルールの
1:45:31	あんまり何かここちょっと誤字があったんでそれをけしからんとかです ね、何か表現がちょっと違うんでけしからんと言うつもりはサラサラな いので、基本このまま、予定では、
1:45:41	ちょっと来週会合が、
1:45:44	9 金曜日に開けないので、別の溶岩 1 日とかの曜日で今入れようかと思 ってますんで、
1:45:53	あの資料特に修正は、
1:45:55	しないつもりでこちらはいたんですけど、
1:45:58	それいかがですか。
1:46:01	中部電力浜野でございます。7 ページが、これ提出させていただいた時 が 10 月 14 日で、10 日ぐらいたってしまっってちょっと今日のヒアリン グなんかも含めて少し、
1:46:16	ずれちゃってるところがあるんでこの辺は、
1:46:19	説明性という意味で直しちゃ直した方が、審査会合で、わかりやすいの ではないかなというふうに考えておりますが、
1:46:29	時期を多少衛藤を送るだけの話で記載内容を変えるという意味ではない んですが、この辺りは、
1:46:38	いかがでしょうか。
1:46:41	は、
1:46:47	他、例えばですね新市事業を特定せず策定する地震動も今 11 月 7 日に ヒアリング入れていただいているんで、ちょっと 2 時間ぐらい、右に送っ ておかないと。
1:46:58	合わないかなというところがあって、その辺りが、
1:47:03	相入れません。ありがとう。例えばで言うと、多分今面談他のところ に、
1:47:09	今後の進め方で大矢印が 10 月の三つ目、1234 が第 3 週のところに入っ てんのかな、これは今日 26 日なので、おそらく第 4 週で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:19	11月の頭の方に、下三角がずれるって告訴そこを横にずらすだけってことですよね。特定せずをすると、およそヒアリングの予定今入ってるし、プレート間もヒアリングの、
1:47:31	資料出てきたしっていうところで、その時、細かい時間軸の調整だけをするっていう、
1:47:36	そういうことです。おっしゃる通りです。そういうことです。はい。
1:47:39	そのぐらいで瞬間的にできるのであれば今、まさしく今日というか今日明日時点ということで、
1:47:48	それであれば、7ページの今のこの表直すぐらいなので、
1:47:53	まだ明日とかにいただけるっっちゃうことですかね。
1:47:57	中部電力天野です。もちろんすぐ直せます。はい。
1:48:04	ということですねはい。ヒアリング等のその面談の実績に合わせて直すと。
1:48:10	はい。
1:48:13	はい。
1:48:22	はい、わかりましたじゃちょっとすでに実施したヒアリング面談或いはもう予定が入ってるもの。
1:48:27	ここと、実態即し合わせるっていうその修正だけですね。はい。それは、そこだけ修正をして、これで会合で、
1:48:36	内容に出していただくということでお願いします。
1:48:41	一応会合としては、1日を予定してますんで。はい。
1:48:45	はい、中部電力、天野です。承知いたしました。よろしく願いいたします。
1:48:49	はい。
1:48:50	こちらは、こういうことで、では今2点ともヒアリングがありましたので、
1:48:56	そっち。
1:48:59	そちらから特に何か確認しておくことがあります。
1:49:13	中部電力浜野でございます。今のバーチャート直すのってというのは紙資料明日の朝とかそんなぐらいでよろしいでしょうか。今日中にすぐ直りますけど、
1:49:25	はいなのでちょっと今回だから会合金曜日ではないので、4、いつも4呼前っていうところ円ぐらいになってしまったんだけど今日かかったのは今日なので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:35	なるだけ早く介護用の資料ですね。
1:49:38	もうかような資料として
1:49:40	すぐ出せるのであれば本当に明日の午前中とかでも結構ですし、
1:49:45	はい。
1:49:46	あそこは
1:49:48	準備でき次第出していただけるということなんですけど。
1:49:51	はい、承知いたしました。
1:49:58	はい。他はありますか、確認すること。
1:50:03	はい。他は結構です。はい。
1:50:07	はいそれでは2点ですね、地質のヒアリングと、基準地震の検討の審査スケジュールのヒアリングこれを終了したいと思いますお疲れ様でした。
1:50:18	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。